

リスクマネジメント

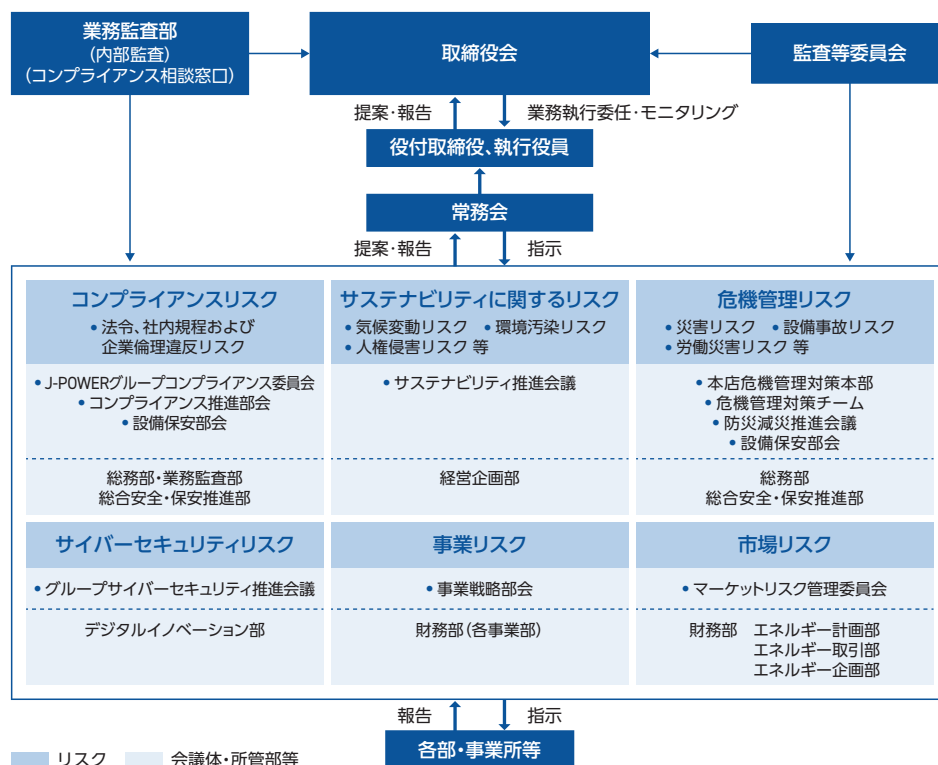
マテリアリティ▶



リスク管理の取り組み

J-POWERグループでは、財務健全性と企業価値の維持・向上を目的として、企業活動に伴うさまざまなリスクを各部が自律的に管理しつつ、全社横断的に管理すべき重要なリスクについては各専門の部会にて把握・分析・評価のうえ、対応策の検討、実施を行っています。各事業所等が平常時の危機管理としてあらかじめリスクを発見、評価および対策の検討を行うことを定め、そのリスク情報の集約を実施しています。そのうえで、取締役会が定期的な事業遂行状況の報告を受けることで、取締役会としてリスクを早期に把握して統合的に管理することが可能となり、適切な経営議論や意思決定の支えとなっています。これらの取り組みにより、社内の規程や体制が適切に見直し・整備され、企業活動の遂行にあたっての適切なリスクマネジメントの実現や、リスク発生時の影響の最小化を図っています。

リスク管理体制図



各リスクへの対応

● コンプライアンスリスク管理

📖 [P.98 コンプライアンス](#)

● サステナビリティおよび人権に関するリスク管理

📖 [P.15 サステナビリティの推進・マネジメント](#) 📖 [P.75 人権](#)

● 危機管理リスク管理

📖 [P.100 危機管理](#)

● 労働災害リスク管理

📖 [P.85 労働安全衛生](#)

● サイバーセキュリティリスク管理

📖 [P.101 サイバーセキュリティ](#)

● 事業リスク管理

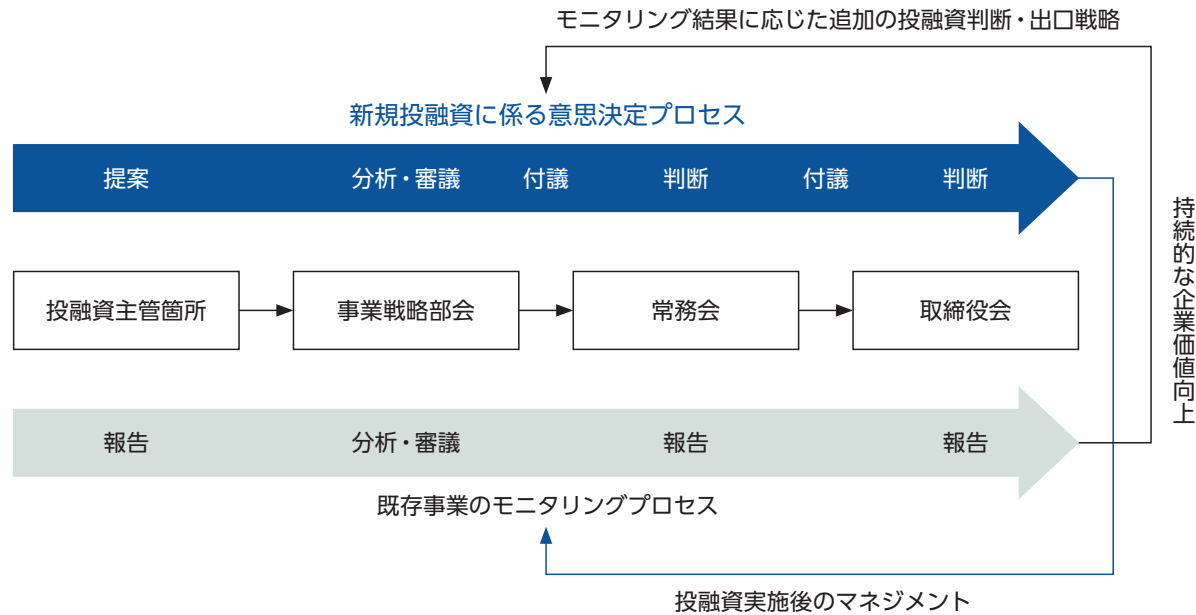
一定規模以上の投融資等の個別案件については意思決定前に常務会で審議を行いますが、その前段として投資評価を行う「事業戦略部会」において、事業推進を担う各部とは別に、企画、財務、法務・コンプライアンス、内部監査の部署がそれぞれの観点から、投資判断時にリスク評価を行っています。また、投融資実行後は、事業戦略部会において半期ごとにモニタリングを実施のうえ、取締役会まで報告を行うことで適切に事業リスクを管理しています。

● 市場リスク管理

財務・企画・販売の各部門を所掌する執行役員および当該各部長で構成する「マーケットリスク管理委員会」において、電力取引における市場価格の変動などのリスク管理について審議し、ヘッジ対応他、リスク管理上必要な対策を検討・実施しています。また、燃料の調達や価格等の変動リスクに対しては、オーストラリア、インドネシア、北米など調達地域や積出港を分散化・多様化するほか、長期契約やスポット契約を組み合わせることで調達することに加え、一部の炭鉱権益を保有することで、それらのリスク分散を行っています。

リスクマネジメント

新規投融資に係る意思決定／既存事業のモニタリング体制



各事業部門が取り組みを進める新規投融資プロジェクトは、社内規程において定める一定の金額・重要性基準に基づき、事業戦略部会・常務会・取締役会にて審議のうえ、投融資判断を実施しています。

事業戦略部会においては、財務部・経営企画部・総務部・業務監査部の委員が、各プロジェクトの企画（投融資等の目的・事由と当社経営計画との整合性）・財務（投融資等の事業性及び顧客・協業相手の財務内容）・法務（投融資等の法令適合性及び契約の内容）・監査（業務プロセスの適正性）の視点から、多面的・専門的に審査を実施しています。審査に際しては、IRRやNPVを用いた経済性評価の他、IRRへ大きな影響を及ぼしうる要因のリスクマトリクスを作成し、主要な要因に関して感応度分析を実施しています。

また投融資判断を実施した案件や既存のプロジェクトに関しては、半期毎に計画の進捗状況・経済性の評価をモニタリングしています。これらの評価結果に際しては、常務会・取締役会への報告を実施しています。なお、モニタリング結果に応じて追加の投融資判断・出口戦略が必要となった場合には、上記の意思決定プロセスを経て判断を行います。これに加えて、計画段階の各種プロジェクトの進捗状況を毎月常務会構成員へ報告しています。

上記の判断プロセスを通じて、持続的な企業価値向上に向けた事業運営を進めています。